

地域医療研修カリキュラム（まつもと医療センター）

研修概要

当院の重症心身障害児（者）病棟にて地域医療の研修を行う。初日に担当医師と看護師長よりオリエンテーションを受け、研修期間は2週間とする。研修は主に病棟での実習を中心に行う。

研修目標

1. 一般目標（GIO: General Instructional Objectives）

重症心身障害児とのコミュニケーションと介助を通して、心身障害児のケア方法について身につける。また、医療スタッフの一員としてチーム医療において必要な態度と技能を身に付け、地域社会に貢献する姿勢を養う。

2. 行動目標（SBO: Specific Behavior Objectives）

- (1) 心身障害児（者）とのコミュニケーションのとり方について理解しその技能を身につける。
- (2) 心身障害児（者）の介護と診療についての知識を修得し、食事・入浴・おむつ交換などの介助法を修得する。また、心身障害児（者）が安全に生活するために必要な注意事項を理解し、補助できる。
- (3) 臨床医としての医の倫理に立脚した基本的態度を身に付け、患者・家族の人格と人権を尊重できる。
- (4) 他の医療スタッフの業務を知り、チーム医療を率先して実践できる。
- (5) 精神保健福祉活動に影響を持つ行政について理解する。
- (6) 社会での地域医療の役割と重要性を理解しプライマリーケアの基本的態度を身に付ける。

研修方略

【研修スケジュール】

	1 週目	2 週目
地域医療	<ul style="list-style-type: none">● コミュニケーション方法について看護スタッフより学習● 病歴のまとめ● 食事・入浴・おむつ交換の介助● 重症心身障害児（者）の診察法の修得● 診療記録の作成方法の修得● 医療スタッフの話し合い・申し送りに参加● 行事（社会見学、誕生会、交流会など）参加● 安全な介護と救急対応法の理解● 重症心身障害の発症原因の理解	<ul style="list-style-type: none">● 看護師、ソーシャルワーカー、保健師などの医療スタッフから情報収集と意見交換● 着替え・食事などの介助とコミュニケーション方法の修得● 運動療法の補助● 診療計画に参画● 重症心身障害児に関する制度に関する知識の修得● 各種行事活動の企画と実施● 症例のまとめとスタッフ検討会での提示

研修評価

研修評価は、研修修了時（～その 1 ヶ月以内）担当指導医が、EPOC-オンライン評価システムにて評価する。最終評価は、まつもと医療センター病院群臨床研修管理委員会での委員会規定に基づいて行う。

III. 指導体制

岩崎 康	特命副院長
北原 正志	小児科部長